



2024年5月20日に開催された

2024年度第1回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●2023年度(第14期)事業報告について

- ・2023年度重点実施項目を中心に事業計画に対する振り返りを行った。
- ・振り返りを基に2023年度の課題と今後の目標を5つ挙げた。
 - 予算に関する経営判断プロセスと、判断に基づいた配分を実行できるシステムの構築
 - 経営資源にあわせて優先度・重要度・費用対効果から事業の継続を検討する
 - 社会的課題に向けた施策を実施していく
 - 中期経営計画の実行計画策定と、実現に向けた担当の明確化
 - 登録制度の改革と、都道府県協会法人化の加速
- ・「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特になし。

【決議事項】

提案のとおり、事業報告を承認する。

●2024年度(第15期)補正予算について

- ・前回理事会での指摘を踏まえ、各部で収支見直しを実施して補正予算を策定した。
- ・予算概要は以下のとおり。
収入 21億500万円／支出 26億2,500万円／損益 △5億1,900万円
※特定費用の目的取崩 3億7,500万円／計画予算損益 △1億4,400万円
- ・今後は中期経営計画の分類に合わせた集計にするよう改善予定。
- ・当初予算との差異は、収入 +3,700万円、支出 △700万円、計4,400万円の改善
- ・財務体質改善に向け、収益増加、支出削減案を、優先度をつけて明確化する。今後の理事会で具体的に説明する。
- ・今後の理事会で、加盟団体法人化助成金として予算計上していた資金の用途変更を提案する可能性あり。

【決議事項】

提案のとおり、2024年度(第15期)補正予算を承認する。

●監事候補者推薦決定について

- ・監事候補者選定委員会において、全会一致で候補者3名を決議した。



- ・必須とされる法務、会計の専門性に加え、経営/ガバナンスの知見を持つ候補者が入ることで、望ましい構成となったと考える。現在 JVA の優先事項となるガバナンス面での発言が期待できる。
- ・継続性（重任/新任のバランス）、男女比率の面からみてもバランスがとれた構成となった。
- ・選定委員会での付帯事項として候補者 3 名への面談実施があげられたため、今回の選定においてはそれぞれへの面談も実施した。
- ・今回提案の候補者における外部比率は 100%（3 名中 3 名）

【決議事項】

提案のとおり、候補者 3 名を監事候補者として承認する。

【補足事項】

6 月 14 日の定時評議員会の承認をもって、正式選任される

●報酬委員会の評価結果に基づく常勤理事の報酬案について

- ・本人の自己評価を基に、報酬委員会で客観的な評価を行った。
- ・昨年から報酬決定を導入するなか、評価は今回が初めて。手続き上の評点の決め方を明らかにして、その内容に則って評価を行った。
- ・会長は協会のトップとして、協会施策全体（主に重点実施項目）に対する評価。業務執行理事は期待される役割と定常業務に対して評価した。
- ・公益法人のため営利企業とは異なる。現状は評価による報酬増減は±10%の範囲で変動する設定。変動幅については今後理事会でご意見があれば来年度以降で見直すこともひとつ。
- ・評価実施が初めてだったため、評点の付け方の目線合わせを改めて実施する。QCD の観点で評点をつけていくことを事前に説明する。

【決議事項】

提案のとおり、報酬委員会の評価結果に基づく常勤理事の報酬案を承認する。

●2024 年度報酬額の決定について

- ・前議題で承認された常任理事の報酬に加え、非常勤役員手当を含めた総額の審議。
- ・非常勤役員手当については、過去の理事会で承認された「主要会議」、「重要会議」、「その他会議・各種プロジェクト」それぞれで想定される回数・支給対象人数を基に計算。
- ・2023 年 8 月 23 日評議員会で承認された役員の報酬総額限度額の範囲内。

【決議事項】

提案のとおり、2024 年度報酬額の決定を承認する。

【補足事項】

次年度以降は役員と職員の兼務解消により、常勤役員の報酬支給が増加する可能性があることを理解しておく。



●定時評議員会の開催目的について

- ・6月の定時評議員会に関して、日時や場所、決議事項等を審議するもの。
- ・主な内容な2023年度計算書類等の承認、監事選任
- ・これまで議論を重ねてきている現評議員懇談会の位置づけについての検討経過についても報告する。

【決議事項】

提案のとおり、定時評議員会の開催目的について承認する。

●委員会委員長の選任について

- ・3月の前回理事会において組織の議題で触れた委員会について、正式に委員長選任を審議いただきたいもの。
- ・委員長選任の提案は2名。
国際渉外委員会 鈴木国正（JVA 理事）
中期経営計画推進委員会 石塚茂樹（JVA 理事）
- ・委員会の目的を明確化する。業務執行理事会の権限・責任も定めながら委員会の役割を設定していく必要がある。JVA組織の全体像も今後の理事会でお示しする。

【決議事項】

提案のとおり、2名の委員会委員長の選任を承認する。

●コンプライアンス違反に対する処分決定について

- ・3件（対象者4名）の処分決定の審議。
- ・JSPO公認指導者資格を保有しないがJVAのMRS登録があるため、JVAで処分を決定する必要がある。
- ・処分は資格停止ではないため、反省文の提出はあるものの、活動は継続できる。今回の件は学校も認識しているため、学校によるモニタリングも前提となった提案。
- ・対応フローや情報開示など課題が残る点もあり、現在はコンプライアンス委員会で検討しながら対応中。

対象者カテゴリー	対象行為者	資格	違反行為	理事会処分決定
香川県内高等学校 男子バレーボール部	監督	JVA 公認審判員資格の保有なし	暴言行為	譴責



熊本県内中学校 女子バレーボール部	監督	JVA 公認審判員 資格の保有なし	暴言行為	厳重注意
北海道内中学校 女子バレーボール部	監督	JVA 公認審判員 資格の保有なし	暴言行為	譴責
北海道内中学校 女子バレーボール部	コーチ	JVA 公認審判員 資格の保有なし	暴言行為	譴責

【決議事項】

提案のとおり、コンプライアンス違反に対する処分決定について承認する。

●**名刺作成・利用規程の新設について/業務執行理事会への委譲について**

- ・ JVA ロゴが新エンブレムに切り替わった機に、ルールを明確にしたいため規程として新設する。
- ・ 作成は実務的な内容のため、業務執行理事会の承認で進行できる規定としたい。

【決議事項】

提案のとおり、名刺作成・利用規程の新設について承認する。

●**加盟団体規程の改定について**

- ・ 大阪府バレーボール協会が法人格取得し「一般財団法人」となったため、名称の変更が生じたことによる規程の改定。

【決議事項】

提案のとおり、加盟団体規程の改定について承認する。

<報告事項>

●**2023 年度（第 14 期）決算について**

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

現時点での最新の決算見込みは以下のとおり。監査確定後に決算額及び特定費用準備資金の積立有無については今月 29 日発信のみなし決議で報告する。ほぼ同等の内容で着地する見込みとして本日最新版を説明する。

収入 35 億 2,845 万円
支出 38 億 1,727 万円



損益 △2 億 8,882 万円

経常外増減を含めると、損益は△3 億 2,102 万円となる見込み。

特定費用の目的取崩 3 億 8,000 万円
計画予算*損益 9,118 万円（経常外増減を含めると 5,898 万円）

* 特定費用の目的取り崩しを含めた予算

※詳細は資料記載の通り。

最終的に監査を経て証明書が発行されるため、確定後に監事会での確認を経て、5 月 29 日のみなし決議で報告、お諮りする。本日時点では確定として説明ができず申し訳ないが、ほぼ同等の内容で着地するものと見込んでいる。

●特定費用準備資金の積立について

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

決算の説明でもお伝えしたとおり、経常外増減を含め 3 億 2,102 万円の赤字決算となる見込み。監査の内容を受けて監査法人とも確認をしていくが、収支相償の面などを確認し、29 日のみなし決議時に具体的な内容をお示しする。

●2024 年度第一四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2023 年度第 4 四半期の職務執行報告が会長、業務執行理事、室長・本部長より行われた。主な報告内容は下記のとおり。

【川合会長／代表理事】

- ① JVA 新ブランディング記者発表
- ② ジャパンビーチバレーボールツアー2024 開幕記者会見
- ③ 黒鷲旗全日本男女選抜大会視察および閉会式プレゼンター
- ④ 官僚・議員との意見交換、各スポンサー企業訪問
- ⑤ 各種メディアとの取材対応や意見交換
- ⑥ バレーボールネーションズリーグ開幕 初戦解説

【村上業務執行理事／事務局長】

- ① 4/1～組織変更および人事異動の発令
- ② JVL2023 年度臨時社員総会出席
- ③ コンプライアンス委員会出席



- ④ 報酬等検討委員会出席
- ⑤ JSPO-NF 連携促進会議出席

【灰西業務執行理事／競技普及推進本部長】

- ① 組織変更に伴う所管委員会への概要説明会実施
- ② JVA 体罰・暴力の相談窓口に寄せられた相談事案の確認調査を実施
- ③ 通報フォームに寄せられた通報事案の確認調査を実施
- ④ コンプライアンス委員会資料の取り纏め
- ⑤ 組織基盤改革プロジェクトにて登録料収入の実体把握

【矢島業務執行理事／ハイパフォーマンス本部長】

- ① 各種合宿視察（U18・男子日本代表）
- ② 女子日本代表チームかほく市紅白戦実施
- ③ JOC 派遣事業説明会参加
- ④ 記者懇談会／男子代表記者会見実施
- ⑤ バレーボールネーションズリーグ開幕

【内藤業務執行理事／中期経営計画推進担当・100周年記念事業プロジェクト担当】

- ① 旧大会運営事業本部の引継ぎと新担当業務の引継ぎ
- ② 中期経営計画推進に向けた委員会設置と進捗管理の企画立案
- ③ 黒鷲旗全日本男女選抜大会の次年度以降の開催に関する協議
- ④ 次期 AVC 委員の立候補者の調整と準備
- ⑤ JVL との連携会議への参加

【川合庶ビーチバレーボール本部長】

- ① 各社スポンサーご挨拶
- ② 日本ビーチ連盟との共催による BVT3/U20 川崎大会視察
- ③ ジャパンツアー開幕記者会見実施
- ④ 全日本女子選手権大会運営会議
- ⑤ JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター面談実施

【藤山マーケティング本部長】

- ① 新規スポンサー獲得・既存協賛社対応及び継続作業
- ② 新ブランディング推進作業／新ブランディングの記者発表準備
- ③ 日本代表グッズ開発・販売促進
- ④ ファンクラブ事業の推進
- ⑤ ジャパンビーチバレーボールツアーブランド改革



●コンプライアンス委員会の処分決定について

灰西業務執行理事より下記のとおり報告が行われた。

対象者カテゴリー	対象行為者	資格	違反行為	コンプライアンス委員会処分決定
埼玉県内スポーツ少年団チーム	監督	公認バレーボールコーチ 1	ハラスメント	厳重注意
埼玉県内高等学校男子バレーボール部	監督	公認バレーボールコーチ 1	暴力	資格停止 6 か月
岐阜県内高等学校女子バレーボール部	監督	公認バレーボールコーチ 1	ハラスメント	資格停止 6 か月

合わせて 2023 年度（一部 22 年度含む）の相談窓口及び通報フォームへの相談/通報実績が報告された。

相談窓口 169 件 2023 年 1 月～12 月：137 件/2024 年 1 月～3 月：32 件

※同一案件において複数相談が入るケースも多数見られる。

通報フォーム 94 件 2024 年 4 月 1 日現在（重複案件除く）

※郵便による投書通報、報道による発覚事案も含む件数

対応完了（34 件）における受付から JVA 対応完了までの平均日数：124 日

●年間会議スケジュールについて

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

2024 年 8 月～2025 年 6 月までの会議日程について説明があった。

※詳細は資料記載の通り

●功労者 II 表彰報告について

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

○第 16 期（2024 年度）第 1 回功労者 II 表彰授賞者



・大堀 学 茨城県バレーボール協会 副理事長

●評議員懇談会の位置付けについて（評議員会運営規程の改定について）

事務局総務部の照沼より下記のとおり報告が行われた。

前回理事会できちんと説明の時間がとれなかったこと、また理事会以降に評議員会議長の意向を伺う機会があったため、改めて経過として理事会に報告するもの。

2023年1月から何度か話し合いを重ねてきており、理事会でも何度もご意見、ご指摘をいただいていた。規程に追記をする評議員会のご意向を踏まえつつ、評議員会案では規程として情報が不足するとの理事会でのご指摘もあり、記載方法を模索している段階。

総務（事務局）案／「意見交換会」と「懇談会」の分離開催

「意見交換会」

代表理事から執行状況の共有を行うもの。協会運営、理事会での執行についてリアルタイムに把握しているのは代表理事であり、代表理事が開催や議題決定を担うことが現実的であると考えている。

「懇談会」

評議員のみで、評議員同士の意見交換や情報格差の是正の場が必要との評議員会の意向にあわせたもの。回数や議題等も評議員会でコントロールしてはどうかと考えている。

評議員会からの追加開催や議題追加等の要望の条件として「評議員全員の同意」としている背景としては、現懇談会の出欠は任意であるものの、出欠状況は評議員選定時の参考情報となることから、全員の利害に関連すると考えたため。本日出された理事会からの意見も集約し、改めて案の更新を行い、評議員会と話し合っていく。

●JSCの実態調査への改善方策の回答について

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）から、2022年VNL男子大阪大会開催にあたり助成金をいただいていた（申請1,500万円、交付決定額1,000万円）。助成金受領にあたり、JSCから適正な執行が認められないと指摘があり、「改善方策を提出すること」及び「理事会で本件について報告を行い、その議事録を提出すること」と指示を受けたもの。

対象経費 会場借用料（開催会場の借用料）
通信運搬費（公式スポーツフロア「タラフレックス」運搬費）



指摘 調査の結果、以下の項目において適正な執行が認められない。

契約手続

基金助成金実施要領において、「物品供給、役務請負等の契約に当たっては、仕様書を作成し、なるべく二人以上の者から見積書を徴さなければならない。

また、契約金額が 100 万円以上の契約を締結する場合には、契約書を作成しなければならない。」と規定されているにもかかわらず、該当する全ての契約について、契約書を作成していないこと。

説明状況 会場借用料

会場は FIVB 含めて決定されており、相見積もり等は実行できない。借用料の見積もりは開催前に取得している。この点については JSC も理解してくれた。

通信運搬費

複数から運搬の見積もりを取得すべきとの指摘。現状は FIVB が定める公式のスポーツフロアである「タラフレックス」の公式代理店であるクリヤマ社に保管・メンテナンスや会場への設置を依頼していることから、運搬も同社に依頼していた。

今後の対策としては、運搬の面で相見積もりを取得すること、契約書の取り交わしが難しい場合には「注文請書」を発行してもらうことの 2 点をお示ししたい。

●その他報告

・ジャパンバレーボールリーグの新体制について

國分理事より一般社団法人 SV リーグと一般社団法人ジャパンバレーボールリーグの統括団体分割による新体制についての報告があった。

・黒鷲旗の開催について

内藤業務執行理事より下記のとおり報告があった。

国内競技大会の見直しの議論でも話題にあがった黒鷲旗について経過があった SV リーグファイナルがゴールデンウィークに開催されることから、秋開催を検討してきたが、2025 年度は例年と同時期に開催することとなった。2026 年度以降は大きく見直す予定として進めていく。

・役員等の改選に向けて

村上事務局長より下記の通り報告があった。

来年度には理事、再来年度には評議員の改選が控えている。ガバナンスコードでいわれる女性比率をはじめとして、先の改選も見据えながらまず理事改選の準備を進めなければならない。規程等の見直しなども含めて、次回の 9 月理事会までに案をお示ししながらご意見をいただきたい。



・バレーボール代表活動報告

矢島業務執行理事および中村女子強化委員長より VNL 第 1 週の対戦結果の報告が行われた。

以上